

3 学生定員及び在籍学生数

(表15)

収容定員 (A)	未修者 総数	既修者 総数	在籍学生 総数 (B)	(B)/(A)	在籍学生数内訳									備考
					第1年次			第2年次			第3年次			
					学生数		学生数 計	学生数		学生数 計	学生数		学生数 計	
					未修者	既修者		未修者	既修者		未修者	既修者		
63	37	21	58	92.1%	12	/	12	8	7	15	17	14	31	入学定員の変更 2005-2009年度 60名 2010年度 30名 2011年度 25名
	< 6>	< 0>	< 6>		< 3>	/	< 3>	< 0>	< 0>	< 0>	< 3>	< 0>	< 3>	
	《 2》	《 0》	《 2》		《 2》	/	《 2》	《 0》	《 0》	《 0》	《 0》	《 0》	《 0》	

留年者数 < > 休学者数 《 》

- [注] 1 各年次に留年者がいる場合は人数を < > に内数で記入して下さい。ただし、休学や留学によって進級の遅れた者は留年に含めないで下さい。
- 2 各年次に休学者がいる場合も同様に人数を《 》に内数で記入して下さい。
- 3 昼夜開講制をとっている場合は、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入して下さい。
- 4 「(B) / (A)」欄については、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで表示して下さい。
- 5 現在の在籍学生に関わる入学定員に変更があった場合には、「備考」欄に注記して下さい。
- 6 本表における「在籍学生総数(B)」欄の留年者数は、表16の2013年度の留年者の合計と一致することになります。
- 7 未修・既修のそれぞれについて定員を設定し、それぞれ分けて入試を実施している場合、本表における「収容定員(A)」欄の数は、未修3年分の入学定員と既修2年分の入学定員とを合計した数になります。

龍谷大学[注]

- 1 既修者は、第2年次、3年次に在籍することから、在籍学生数内訳については、第1年次を斜線とする。